

II 发育段階別分布生態

(1) 分布・移動

孵化直後から孵化後1ヶ月未満の稚イカは浮游生活をしていることから、**稚**ネットによる調査をしたが中城湾での採捕はできなかった。金武湾では、3月30日に湾中央部で背套長4.4~16.2 mmの稚イカが15尾採捕されたのみであった。

中城湾の産卵場が、久場崎から勝連半島にかけての水深10 m以浅海域、知念の南側海域であること、その海域では、建干網、マス網等によって背套長5~10 cmの幼イカがほぼ周年漁獲されていること、また追込網漁場が平瀬から泡瀬にかけてのサンゴ礁海域、浮原島海域、浜比嘉周辺海域、金武湾の照間沿岸海域であり、この海域が幼イカ及び成イカの生息場となるものと考えられる。

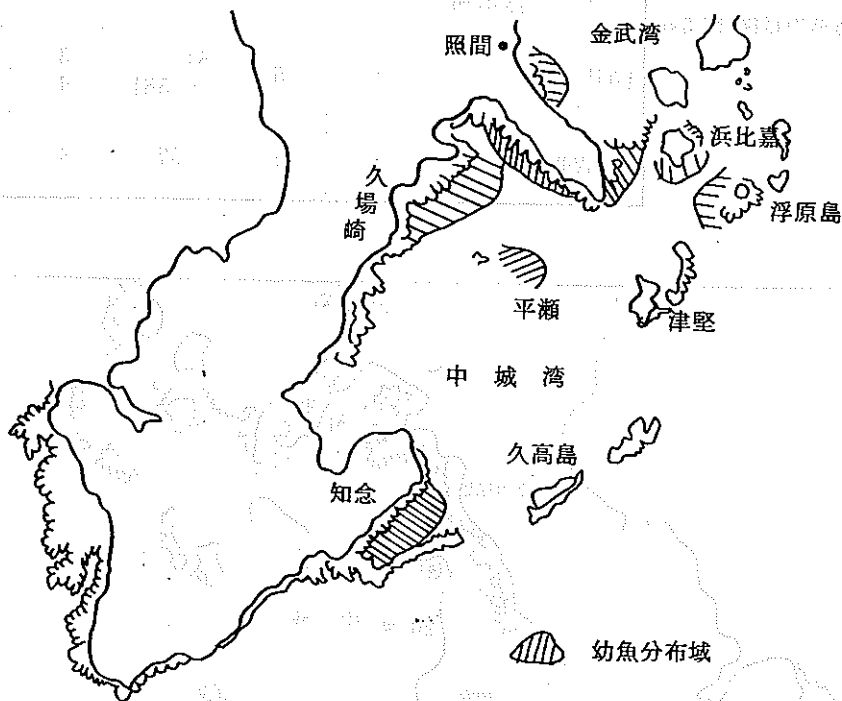


図-5 アオリイカの幼魚分布図

建干網・マス網の漁獲物の背套長組成を図6に示した。建干網は水深1~3 mの海域、マス網は10~15 m海域である。この海域では背套長10 cm未満の幼イカ及び成イカは周年漁獲されており、发育段階別及び季節的な垂直移動はみられない。これらの漁具で漁獲されるのは夜間であり、また追込網は昼間に前述した海域の10 m以浅で操業しており、昼間と夜間の浅深移動はかなり明確である。

(2) 成長

アオリイカの成長については、産卵期間が2月下旬～10月下旬の長期に及ぶため、幼稚魚が周年出現すること、寿命が1年であること等からして漁獲物調査等によって、その成長を知るのは困難である。それ故、その成長については産卵巣設置調査により採卵したものについて活簞網による蕃養試験結果から、その成長を推定した。その結果を図-7に示した。また48年9月8日孵化したアオリイカの測定結果を表-3に示した。

表-3 孵化稚仔の背套長

| 孵化月日 | 背套長 (mm) | 体重 (g) |
|---------|----------|-----------|
| 48年9月2日 | 3.7~6.0 | 0.02~0.06 |
| 平均値 | 5.3 | 0.045 |

孵化直後の稚仔の背套長は平均5.3mm、体重0.045gであった。孵化直後から1ヶ月目における成長は背套長20~50mmで平均30mm、2ヶ月目には50~80mm、平均55mm、3ヶ月目には平均75mmとなっていてほぼ直線的な成長を示す。また1年間での成長は最大40cm前後、体重1.5kg前後と推定される。

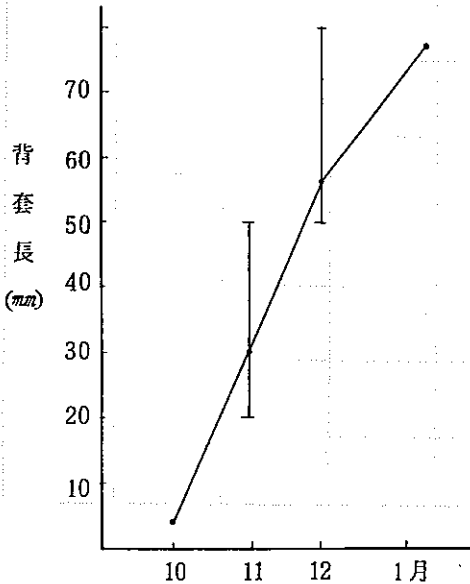


図-7 アオリイカの成長

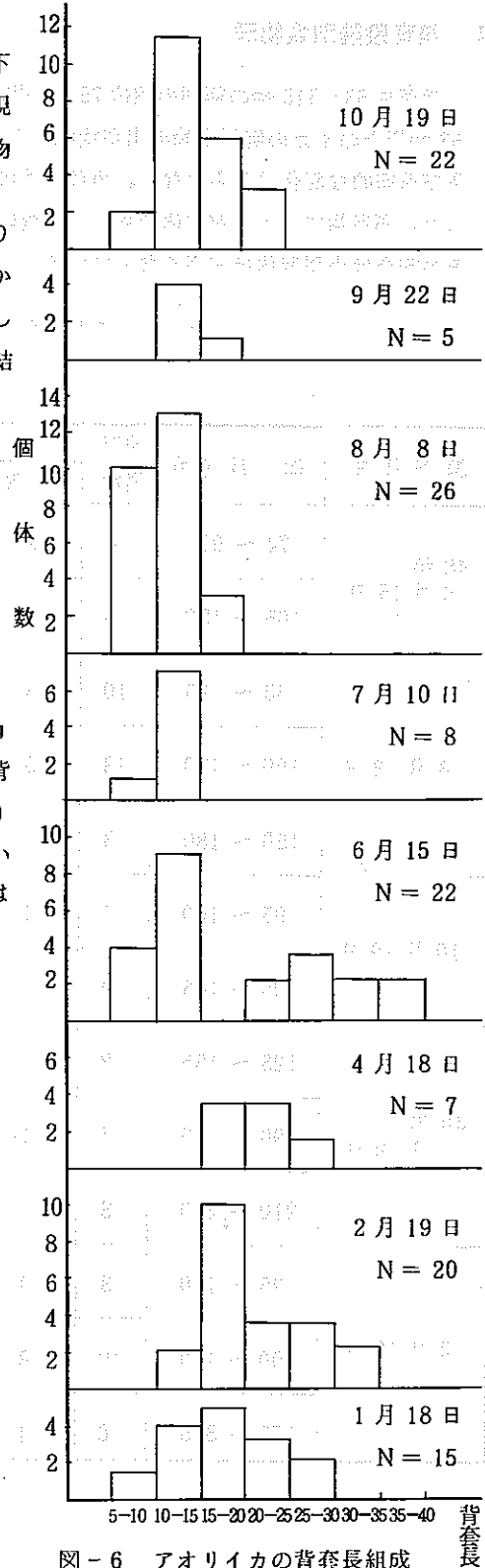


図-6 アオリイカの背套長組成